

公民館とまちづくりセンターの一元化についての意見書 ～一元化を機に人や組織がつながる充実した公民館へ～

令和6年3月26日
所沢市社会教育委員会議

所沢市社会教育委員会議では、現在進められている公民館とまちづくりセンターの管理権限の一元化について、所沢市公民館運営審議会答申（令和5年5月）や「まちづくりセンター、その未来展望」（市民部主催説明会 令和5年11月29日開催）等も踏まえて審議してまいりました。まちづくりセンターが、この一元化をきっかけにより良い施設になることを期待して、下記のとおり意見を提出いたします。

記

1. 公民館機能の充実

○市民の誰もが気軽に集う憩いの場に

市民の誰もが気軽に集う憩いの場として公民館のロビーの活用や誰でも出入り自由なオープンスペース（会議室・学習室等）の設置をお願いしたい。人が集まることで、役立つ情報が得られ、気軽に体験ができることから、繰り返し人が訪れ、さらに賑わう好循環が生まれる。

○人がつながる仕掛けを

地域の実態に即した、連続性のある、自由度の高い事業を実施することで、地域の人同士がつながる仕掛けづくりに取り組んで頂きたい。人がつながることで、地域活性化や地域づくりにつながっていく。さらに各自のシビックプライドの醸成も意識して事業を実施することで、地域への愛着や地域住民主体の取り組みにもつながっていく。

○多様な市民の利用を促進し、広報や啓発活動を活発に

公民館の活用方法や事業の情報等が、地域住民に届いていないのが現状の課題である。若年層を含めた多様な市民の利用を促進するために、広報・啓発活動を活発にして、情報を地域住民に届ける必要がある。

2. 職員の充実

○社会教育主事有資格者、公民館の充実した活動を伝える職員、意欲ある職員の配置・育成を

公民館が主体性を持つ地域人材の発掘、育成及び地域の活性化や地域づくりの役割を担うためにも、専門的な知識を有する社会教育主事等を計画的に配置すべきである。また、資格の有無に関わらず、公民館の充実した活動を伝えられる、地域住民と対等に学び合える、地域愛にあふれ地域に関心がある、意欲・行動力のある職員を育成していく必要がある。

3. 社会教育の担保

○今後のビジョンを明確に

所沢市の公民館としての今後のビジョンを明確化して頂きたい。一元化後も、社会教育施策を推進することを条例や計画等で示す必要がある。

○公民館運営審議会の設置を

所沢市公民館運営審議会で公民館事業や施設活用を審議することは重要である。今後は、まちづくりの視点も入れた審議を行うとともに、各公民館にもそれにつながる組織づくりもしていく必要がある。

○社会教育委員と公民館の関わりを

一元化後も、社会教育委員が公民館の運営に関わり、事業の効果等を検証していけるよう公民館運営審議会と社会教育委員会議の関係性を担保する工夫を求めたい。

4. 機能の拡充

○コミュニティスクールへの関わりも

市内小中学校で導入を進めているコミュニティスクールに公民館も関わり、地域や学校を支援する役割を期待したい。

○自治会館、町内会館との関係性構築も

自治会、町内会所有の施設でもサークル活動を含めた社会教育と親和性の高い活動が行われている。地域住民が活動している公民館以外の施設との関係性の構築も意識して頂きたい。